

2013年10月7日

報道関係各位

三菱地所株式会社

**三菱地所が GTF Green Challenge AWARDS 2013
東京圏の生物多様性コンクール
「国連生物多様性の10年日本委員会賞」受賞**

三菱地所は、この度、東京圏の生物多様性に関する活動事例を表彰する「GTF Green Challenge AWARDS 2013」(主催:GTFグレートウキョウフェスティバル実行委員会、以下「GTF実行委員会」)の「東京圏の生物多様性コンクール」にて、「国連生物多様性の10年日本委員会賞」を10月6日に受賞しましたのでお知らせします。

本コンクールは、高度経済成長にともない東京圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)では多くの里山・自然が失われた一方で、2010年に日本で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」以降多くの企業・団体により生物多様性の保全等への活動が拡がりを見せる中、そうした活動を応援し、市民へ知ってもらう機会を提供するために、GTF実行委員会により2012年に創設されたものです。

今回、三菱地所は、丸の内地区における生物モニタリング調査と、その調査結果をまとめた小冊子「丸の内生きものハンドブック」の発刊につき、優良な事例を表彰する「国連生物多様性の10年日本委員会賞(企業・各種団体部門)」を受賞しました。当社は、CSR活動の一環として「自然保護・環境保全」をテーマに運営している施設「丸の内さえざり館」において、NPO法人生態教育センターと協働して、毎月1回、丸の内地区の生物のモニタリング調査を行っています。そうした調査の結果を基に、エリアに生息する様々な生物を写真付きで紹介したり、身近にできる生物多様性保全の提案や同エリアでの環境への取組みを紹介することで、当社グループ社員、エリア就業者や来街者への啓発を行っています。

三菱地所は、今後も人と生物が共生できる環境づくりを目指すとともに、自然保護・環境保全へ向けた啓発活動を続けていきます。



▲丸の内さえざり館



▲丸の内生き物ハンドブック

自然環境情報ひろば 丸の内さえずり館

「自然環境情報ひろば 丸の内さえずり館」では、三菱地所株式会社が CSR 活動の一環として「自然保護・環境保全」をテーマに、情報発信や啓発を行っています。

NPO・NGOなどの自然保護団体との協働企画によるパネル展示のほか、イベント・セミナーを通じて、自然に親しみ、学び・考え、体験することにより、環境保全に関心をもってもらうことを目的としています。また、NPO法人生態教育センターと協働して、月に1度の頻度で、地区の生物モニタリング調査を実施。

●住所 〒100-0006

東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル1F

●営業時間 開館：月～金曜日 11:00～18:00

閉館：土・日曜日、祝日、年末年始

●URL <http://www.m-nature.info>

自然環境
情報ひろば

丸の内さえずり館
marunouchi
Saezuri Kan
三菱地所

▲丸の内さえずり館 ロゴ



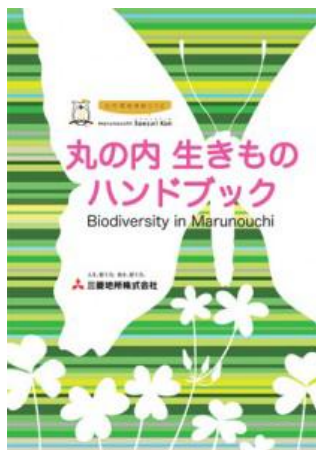
▲施設内観

丸の内 生きものハンドブック

エリアの生物モニタリング調査結果を纏めた小冊子「丸の内 生きものハンドブック」を2013年6月に発刊し、丸の内さえずり館や弊社が所有する丸の内地区のビルにて、エリアの就業者、来街者を対象に無料で配布を開始。

丸の内地区は、皇居、お濠、日比谷公園など良好な自然に隣接しているため、一年を通じて、花や樹木に加え、昆虫、鳥など、様々な生き物を見つけることができる。本ハンドブックは、丸の内地区内に生息する多様な生物を、季節毎、水辺・夜などのテーマ毎に纏め、その姿と名称を写真付きで紹介。その他、都市の自然の達人のコラム、個人でも身近にできる生物多様性保全の提案、自然観察の服装・グッズの紹介、丸の内地区における環境への取組の紹介など、豊富なコンテンツで構成。

このハンドブックを丸の内地区の生態系の管理に向けたPDCAサイクルのツールとし、また三菱地所グループ社員を始め、エリア就業者、来街者に丸の内地区での取り組みを周知し、生物多様性保全に向けた行動を啓発し、協働して発展させていくことを目指しています。



▲表紙



▲エリア生息生物紹介ページ

GTF Green Challenge AWARDS 東京圏の生物多様性コンクール

■主催 GTF グレータートウキョウフェスティバル実行委員会

■後援 環境省、国連生物多様性の10年日本委員会

■部門 ①企業・各種団体部門

②中高校生部門

■募集内容

①企業・各種団体部門

テーマ：「地域で支える生物多様性」

東京圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）における、企業・各種団体による、生物多様性の保全や持続可能な利用等のための実践的な活動を幅広く対象とする。

②中高校生部門

テーマ：「中高生による生物多様性に関する調査・研究」

東京圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）における、中学生・高校生による、生物多様性をキーワードにした動植物の生態調査や、外来種などの生物多様性に関する研究、環境保全技術開発などの活動を幅広く対象とする。